

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【001】	2	p. 236	自殺企図者に対する生命倫理の原則		39-A-024
【002】	4	p. 237	生命倫理の善行の原則とは？	必 修	41-B-006
【003】	2, 5		インフォームドコンセントとは？		41-A-020
【004】	2, 5	p. 238	改正臓器移植法における臓器提供の要件は？		43-A-023
【005】	5	p. 239	保健所の役割		40-A-017
【006】	4	p. 240	厚生労働省の管轄する業務	基 本	42-A-018
【007】	3		わが国の高齢者(65歳以上)人口の割合	必 修	43-B-004
【008】	5		乳児死亡率について		39-A-017
【009】	2		死亡率2位の疾患は？	必 修	39-B-004
【010】	2	p. 241	主な死因別にみた死亡率の年次推移の読み取り	必 修	42-B-004
【011】	1		15～19歳の死因統計の1位	必 修	42-B-012
【012】	5		疾病構造の変化で増加傾向にあるものは？	基 本	43-A-017
【013】	2, 5	p. 242	医療計画で定められた事業		39-A-019
【014】	3		医療計画における5疾病	必 修	40-B-004
【015】	4		医療計画における「5疾病」以外の疾病の選択	基 本	43-A-016
【016】	2, 3	p. 243	医療法上の病床分類とは？		41-A-018
【017】	2, 4		精神障害者の入院形態		40-A-016
【018】	4		労働者の安全と健康管理		41-A-017
【019】	2		国民医療費に含まれる費用は？		43-A-018
【020】	1	p. 244	介護保険の担当行政組織	必 修	41-B-004
【021】	3		社会保険制度と保険者の正しい組合せは？		39-A-016
【022】	3		社会保障と担当行政組織の正しい組合せは？		40-A-019
【023】	1	p. 246	被用者保険とは？		41-A-016
【024】	2		社会保障を構成する要素	基 本	42-A-019
【025】	4	p. 247	高齢者虐待で多いのは？		41-A-019
【026】	1		高齢者虐待防止法に明記されている通報窓口となる機関	基 本	42-A-089
【027】	5		母子世帯について	基 本	39-A-018
【028】	2	p. 248	児童虐待で最も多い加害者は？		43-A-019
【029】	4		生活保護費が最も多い扶助は？		40-A-018
【030】	4		特別養護老人ホームを規定する法律	基 本	42-A-017
【031】	2	p. 249	蛋白質合成を行う細胞小器官	基 本	42-A-001
【032】	3, 4	p. 250	細胞外液中に最も多いイオン		40-A-004
【033】	4		細胞外液に最も多く含まれる電解質	必修・頻 出	42-B-002
【034】	3		成人の体液の内訳と体重に対する比率	頻 出	43-A-002
【035】	4		体液の構成比で血漿にあたるのはどれか？	必 修	40-B-002
【036】	5	p. 251	膠質浸透圧を形成する物質	基 本	41-A-002
【037】	1		解剖学的基本体位(解剖学的正位)は人体を扱う場合の基準の姿勢である	基 本	43-A-003
【038】	4, 5		p. 252	頸部の構造の説明で正しいのは？	
【039】	5	p. 252	外果の部位はどれか？	必 修	41-B-001
【040】	1		剣状突起が含まれる骨	必 修	43-B-002
【041】	3	p. 253	体表の指標と解剖学的位置の正しい組合せは？		39-A-003
【042】	5		後腹膜に位置する臓器		43-B-001
【043】	2		体腔でないのは？	基 本	41-A-005
【044】	2	p. 254	生体内の神経伝達物質でないものは？	基 本	42-A-006
【045】	2		大脳の障害部位と症候の正しい組合せは？		39-A-010
【046】	2	p. 255	延髄に中枢がある機能は？		40-A-007
【047】	2		平衡機能と姿勢制御を司る解剖的部位	必 修	40-B-001
【048】	3		平衡機能と姿勢制御を司る解剖的部位	必 修	41-B-002
【049】	5	p. 256	脳神経と機能の組合せ	基 本	43-A-004
【050】	1		p. 257	運動機能以外の神経線維をもつ脳神経は？	基 本

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【051】	2	p. 257	脊髄損傷における損傷レベルの評価	基本	42-A-033
【052】	1, 5		交感神経系の興奮作用	基本	42-A-002
【053】	2	p. 258	脳灌流圧の算出		41-A-050
【054】	2		脳灌流圧について		40-A-050
【055】	1, 5		脳代謝に不可欠な因子		39-A-047
【056】	5	p. 259	視覚器についての説明で正しいのは？	基本	41-A-009
【057】	4		視覚経路の順序は？	基本	43-A-005
【058】	3		鼓膜に接している聴覚器の構造		39-A-005
【059】	4	p. 260	平衡感覚と聴覚器の正しい説明は？		40-A-008
【060】	3		気管・気管支の構造	基本	42-A-005
【061】	4		舌圧子を用いて確認できる口腔内の解剖学的構造物	必修	42-B-001
【062】	5		気道の構造で正しいのは？		39-A-002
【063】	4	p. 261	発声機能をもつ気道の部位	必修	39-B-001
【064】	5		ヘモグロビン酸素解離曲線について		39-A-009
【065】	3		PO ₂ とSO ₂ との関係(酸素解離曲線)	基本	42-A-039
【066】	4		PaO ₂ の低下を感知する化学受容体		40-A-009
【067】	5	p. 262	PaCO ₂ の変化を感知する中枢化学受容体	基本	41-A-008
【068】	4		体表から触知できる動脈	基本	42-A-007
【069】	2	p. 263	心音の構成成分		39-A-001
【070】	3		心音の発生成成分について		40-A-002
【071】	3		横紋筋かつ不随意筋で構成される組織	基本	42-A-010
【072】	3	p. 264	心臓の内部構造について	必修	39-B-002
【073】	2		全血液量における静脈血の割合	基本	43-A-009
【074】	3		栄養素が吸収される部位	基本	42-A-004
【075】	3	p. 265	食道の構造およびその位置	基本	43-A-007
【076】	1, 3		肝臓が合成する物質は？	基本	41-A-006
【077】	5		膵臓と膵液の性質について		40-A-006
【078】	1, 2	p. 266	膵臓の解剖と位置について		39-A-007
【079】	3		腎臓の構造と機能(尿の濾過の部位は？)		39-A-008
【080】	5		尿路の構造と機能	基本	42-A-003
【081】	5	p. 267	平滑筋の組織は？		41-A-004
【082】	3		内分泌系の特徴で誤っているものは？	基本	43-A-010
【083】	2	p. 268	下垂体後葉から分泌されるホルモンは？	基本	41-A-001
【084】	4		甲状腺ホルモンの機能		40-A-003
【085】	2, 4	p. 269	核のない血球成分は？		43-A-008
【086】	4		線溶系の因子		40-A-005
【087】	2, 5	p. 270	関節の形状	基本	43-A-001
【088】	5		皮膚固有の受容器をもたない知覚は？	基本	42-A-008
【089】	1, 5		ブドウ糖の好気性代謝における代謝産物	基本	42-A-009
【090】	3	p. 271	人体の代謝について		40-A-010
【091】	5		栄養素について正しいのは？	基本	41-A-007
【092】	5		ミネラルに該当する元素は？	基本	43-A-006
【093】	1	p. 272	ダウン症候群の特徴		41-A-013
【094】	4	p. 273	急性疾患と慢性疾患の区別	必修	43-B-003
【095】	1		糖尿病の3大合併症		43-A-012
【096】	2, 4	p. 274	疾病の一次予防		40-A-014
【097】	3		メタボ健診(特定健康診査)の対象年齢	基本	42-A-013
【098】	2		退行性病変に該当する形態的または機能的変化		43-A-014
【099】	5	p. 275	損傷後の修復		39-A-006
【100】	4, 5		アポトーシスとは？		39-A-011

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【101】	1	p. 275	ウイルスによる感染症	頻 出	42-A-015
【102】	3	p. 276	疾患とその感染経路で正しい組合せは？		40-A-015
【103】	3		垂直感染の感染様式	基 本	43-A-015
【104】	5		標準予防策で無効な病原体	必 修	39-B-003
【105】	3	p. 277	感染とそのリスクについて誤っているのは？	基 本	41-A-014
【106】	1		飛沫核感染の感染経路	必 修	42-B-003
【107】	4		日和見感染とは？		39-A-012
【108】	3	p. 278	動脈閉塞による壊死をきたしにくい臓器	難 問	40-A-013
【109】	2		塞栓症を起こす疾患	基 本	42-A-012
【110】	5		循環障害の種類と原因の正しい組合せは？		40-A-011
【111】	2	p. 279	一次治癒とは？		39-A-014
【112】	4		創傷治癒過程の流れ	基 本	42-A-011
【113】	5		心臓死の三徴候	必 修	41-B-003
【114】	5		死体現象について		40-A-012
【115】	2	p. 280	死後硬直と死斑の出現	頻 出	42-A-014
【116】	2, 5		死後2時間でみられる死体現象	頻 出	43-A-011
【117】	1	p. 281	死後12時間後の死体現象でないのは？	難 問	39-A-013
【118】	2		晩期死体現象とは？	必 修	40-B-003
【119】	1		異状死体の検案・届出と死体検案書など	難 問	41-A-011
【120】	1, 4	p. 282	←解説参照 アドレナリンの管理について誤りは？		40-A-044
【121】	5		アドレナリンの作用	必 修	39-B-018
【122】	3	p. 283	アドレナリンの薬理作用(α 受容体, β 受容体)	必 修	43-B-018
【123】	2, 5		ブドウ糖注射液について正しいのは？	重 要	39-A-045
【124】	4		ブドウ糖溶液20mLに含まれるブドウ糖の量	必 修	40-B-018
【125】	2	p. 284	薬とその作用の正しい組合せは？	重 要	41-A-045
【126】	4		尿簡易検査の所見と原因	やや難問	42-A-044
【127】	4	p. 285	パニック値に該当する検査値		43-A-044
【128】	4	p. 286	覚知から医療機関収容までの時間		40-A-020
【129】	1, 4	p. 287	救急車による救急搬送人員の統計	基 本	42-A-024
【130】	3		救命の連鎖で第1の輪は？		40-A-024
【131】	5	p. 288	救命の連鎖(心停止の早期認識と通報)	基 本	42-A-025
【132】	4		救命の連鎖における要素の理解	必 修	43-B-005
【133】	1	p. 289	救急自動車による救急搬送人員の統計		43-A-021
【134】	3		救急医療機関について理解しているか？		39-A-023
【135】	1		初期救急医療機関とは？	必 修	39-B-007
【136】	1		救急医療体制について理解しているか？		41-A-023
【137】	3		救急告示病院の認定者	必 修	42-B-005
【138】	1, 3		病院前救護のプロトコールとは？		39-A-026
【139】	3, 4	p. 291	プロトコールとは？	基 本	43-A-022
【140】	1		災害救急対応におけるCSCATTTとは？	必 修	39-B-005
【141】	1		災害救急対応の活動原則の優先順位	必 修	40-B-007
【142】	5	p. 292	多数傷病者への対応	頻 出	41-A-022
【143】	2		多数傷病者対応における先着隊の役割	必 修	43-B-027
【144】	4	p. 293	一次トリアージで確認する項目は？	必 修	43-B-006
【145】	3		DMAT〈災害派遣医療チーム〉派遣を要請する機関	必 修	42-B-007
【146】	1, 3	p. 294	災害医療のキーワード		40-A-021
【147】	4		通信指令員による口頭指導項目に含まれていないのは？		39-A-020
【148】	4		心肺停止に対する適切な口頭指導		39-A-034
【149】	5		交通事故の通報者に対してまず行う口頭指導		39-A-043
【150】	1		通報者への胸骨圧迫の指示の条件とは？	必 修	41-B-017

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【151】	2	p. 295	通信指令員による心肺蘇生法の口頭指導	必修	43-B-008
【152】	1		現場到着後の優先事項	必修	41-B-014
【153】	4	p. 296	現場活動の流れ(状況評価から救護活動まで)	基本	43-A-027
【154】	5		全身熱傷(外傷)傷病者に対する初期評価	基本	42-A-022
【155】	1, 5	p. 297	救急活動の基本的知識について		41-A-026
【156】	1		救急救命処置録に記載不要の事項		40-A-022
【157】	3, 5	p. 298	DNAR指示とは?		40-A-023
【158】	1, 2		医師の包括的指示で行える処置		39-A-025
【159】	5	p. 299	包括的指示により行うことができる救急救命処置は?	必修	43-B-013
【160】	2, 5		救急救命士法に定められている「欠格事由」		43-A-025
【161】	5	p. 300	救急救命士に関連する法的規定	基本	43-A-024
【162】	1		医師の具体的指示が必要な救急救命処置	必修	39-B-008
【163】	5		心肺停止前に許される救急救命処置	必修	40-B-006
【164】	3, 4	p. 301	医師の具体的指示が必要な救急救命処置	基本	42-A-021
【165】	2		救急救命士法の基本的理念を定めている法令	基本	42-A-016
【166】	5	p. 302	コカインの規制法律		43-A-045
【167】	2		救急救命士の病院実習の主な目的でないのは?		43-A-020
【168】	1	p. 303	リスクマネジメントとは?		41-A-025
【169】	4		ヒューマンエラーの再発防止策で不適切なもの	基本	42-A-023
【170】	4, 5	p. 304	インシデントに分類される事項		40-A-026
【171】	5		インシデントに相当するのは?	必修	41-B-005
【172】	3		ハインリッヒの法則とは?		39-A-022
【173】	3		ヒヤリハット報告について	必修	40-B-005
【174】	2, 4	p. 305	標準予防策の骨格	基本	43-A-026
【175】	1		空気感染を起こす微生物の選択	必修	43-B-007
【176】	1	p. 306	N95マスクを装着する必要がある感染症は?	基本	42-A-026
【177】	2, 3		飛沫感染対策が必要な感染症	頻出	41-A-024
【178】	5	p. 307	血液による汚染への対処法	必修	39-B-006
【179】	1, 3		救急現場での針刺し事故への対応		39-A-021
【180】	4		針刺し事故への対応	必修	42-B-006
【181】	5	p. 308	結核感染者の搬送時の注意点	重要	40-A-025
【182】	1, 2		ストレス障害発生予防の方策とは?		41-A-021
【183】	5	p. 309	惨事ストレスにおける「隠れた被災者」の背景要因	基本	42-A-020
【184】	4	p. 310	脈拍触知部位で血圧低下に伴って触れなくなる順番は?		40-A-029
【185】	4	p. 311	救急現場活動で聴取する現病歴の理解	必修	43-B-015
【186】	5		上気道閉塞時に特徴的な呼吸所見	必修	43-B-012
【187】	3, 5		←解説参照 異常呼吸と病態の正しい組合せは?		39-A-064
【188】	1	p. 312	異常な呼吸様式をきたす原因病態		43-A-050
【189】	4		末梢気道の狭窄によって生じる異常呼吸は?	基本	41-A-038
【190】	2	p. 313	下位頸髄完全損傷に伴う呼吸様式	必修	42-B-008
【191】	2		口すぼめ呼吸を特徴とする病態は?		43-A-032
【192】	2		成人の頻脈の下限値は?	必修	40-B-013
【193】	5	p. 314	頻脈を呈する疾患	基本	42-A-040
【194】	5		観察所見からGCSスコアを評価する		39-A-057
【195】	2		観察所見からGCSスコアを評価する		40-A-031
【196】	3	p. 315	除皮質肢位はGCSスコアの何点か?	必修	41-B-012
【197】	2		除脳肢位の傷病者の運動による最良の応答(M)は?	基本	43-A-035
【198】	5		皮膚症状と疾患の組合せで誤りは?	基本	41-A-089
【199】	5	p. 316	瞳孔不同が特徴の病態	必修	41-B-010
【200】	2		瞳孔反応の機序と瞳孔所見の大切さ	難問	43-A-033

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【201】	1, 5	p. 317	呼吸音が聴取できなくなる病態		39-A-090
【202】	1		吸気性の気道狭窄音を聴取する部位		39-A-030
【203】	4		気管支喘息で観察できる特徴的な呼吸音	必 修	40-B-022
【204】	5	p. 318	機械的イレウスの腸雑音は？		41-A-042
【205】	3, 4		急性虫垂炎に特徴的な圧痛部位	基 本	43-A-031
【206】	4		慢性貧血でみられる所見		40-A-028
【207】	1		パレー徴候で証明する病態	必 修	39-B-017
【208】	4	p. 319	歩行形態と原因の正しい組合せは？		41-A-033
【209】	5		麻痺の種類と疾患の正しい組合せは？		40-A-055
【210】	2		企図振戦をきたす病変部位	基 本	42-A-028
【211】	4	p. 320	症候を表す医学用語を具体的な症状として想像する	基 本	42-A-063
【212】	2		髄膜刺激症候に含まれるものは？	必 修	41-B-022
【213】	1	p. 321	神経系疾患や精神障害時に出現する言語や行動にかかわる医学用語に慣れる		42-A-078
【214】	2		緊急度・重症度の概念	基 本	42-A-032
【215】	1, 4	p. 322	「血を吐いた」との通報から緊急度の判断に役立つ情報	難 問	39-A-068
【216】	3		重症以上と判断する生理学的観察所見	必 修	39-B-009
【217】	3	p. 323	重症以上と判断する根拠		40-A-032
【218】	4		緊急度が高い初期評価所見は？	基 本	41-A-031
【219】	3	p. 324	緊急度判定における“準緊急”に該当する識別色	基 本	42-A-038
【220】	5		パルスオキシメータで表示されるのは？	必 修	39-B-015
【221】	2		パルスオキシメータで測定できるのは？	必 修	41-B-008
【222】	3, 5	p. 325	SpO ₂ 値とSaO ₂ 値との間に乖離が起こる病態	基 本	41-A-037
【223】	5	p. 326	SpO ₂ 値の測定が困難になる病態	必 修	43-B-016
【224】	5		パルスオキシメータの脈波は動脈血の吸光度の変動成分である		43-A-043
【225】	1, 5	p. 327	カブノメータでわかること		41-A-028
【226】	5		カブノグラム波形が意味するもの		39-A-039
【227】	2	p. 328	カブノメータでは評価できないもの	基本・重要	42-A-030
【228】	3		正常なカブノグラムの呼気相	基 本	43-A-041
【229】	1		聴診器の正しい取り扱い方法	基 本	42-A-042
【230】	5	p. 329	聴診ではコロトコフ音のどこを聞いているのか？		40-A-036
【231】	5		救急資器材の測定原理	基 本	42-A-035
【232】	3	p. 330	血圧について		39-A-035
【233】	4		血圧測定値が不正確になるのは？		39-A-042
【234】	2		オシロメトリック法自動血圧計の測定に影響を与える要因	必 修	42-B-014
【235】	4	p. 331	血圧測定について	必修・頻出	41-B-009
【236】	3, 4		基線の揺れの原因	重 要	40-A-034
【237】	2		アーチファクトの原因	必 修	41-B-011
【238】	2	p. 332	刺激伝導系に平行する誘導法	重 要	40-A-033
【239】	4		標準単極胸部誘導の装着部位	基 本	42-A-041
【240】	4		心電図モニターの誘導	必 修	43-B-009
【241】	3	p. 333	体温が低く測定される部位	必 修	40-B-017
【242】	3, 5		鼓膜体温計の測定原理と測定における注意点	基 本	43-A-039
【243】	5		鼓膜体温計について		40-A-037
【244】	1	p. 334	血糖測定結果に影響しない要素		40-A-041
【245】	5		血糖測定を行う意識レベルは？	必 修	40-B-014
【246】	1		血糖測定の適応	必修・頻出	42-B-018
【247】	5	p. 335	血糖測定のための採血について		39-A-033
【248】	1		血糖測定のための穿刺部位		40-A-040
【249】	4		血糖測定時の注意点	頻 出	42-A-034
【250】	5		血糖測定時の穿刺部位の第一選択は？	必 修	42-B-009

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【251】	5	p. 336	穿刺後に十分な血液が得られない場合の対応	頻 出	43-A-042
【252】	2		経鼻エアウェイが適切な病態	必 修	41-B-013
【253】	2		経鼻エアウェイの適応	必 修	43-B-011
【254】	2	p. 337	各種気道確保器具の合併症で誤っているのは？	基 本	43-A-038
【255】	4		気道異物に対して腹部突き上げ法が必要な症候	重 要	39-A-117
【256】	4		マギール鉗子の正しい把持の仕方		39-A-041
【257】	5	p. 338	食道内カフのある気道デバイス	必 修	39-B-011
【258】	1		構造にカフが付いていない声門上気道デバイス	基 本	42-A-027
【259】	1	p. 339	喉頭展開時に視認できる解剖学的構造	難 問	43-A-037
【260】	3		ビデオ硬性喉頭鏡による気管挿管の適応	重 要	39-A-031
【261】	4	p. 340	ビデオ硬性喉頭鏡による気管挿管の特徴	基 本	41-A-027
【262】	2		気管挿管中の気管吸引の留意点	必 修	39-B-013
【263】	3		リザーバ付きフェイスマスクの構造と使用方法で誤りは？	基 本	41-A-034
【264】	4	p. 341	吸入器酸素濃度を100%にできる酸素投与方法は？	基 本	43-A-028
【265】	1, 2		バッグ・バルブ・マスクによる過剰換気の留意点		40-A-048
【266】	4		頸髄損傷による呼吸抑制をきたした傷病者への対応	必 修	42-B-025
【267】	5	p. 342	胸骨圧迫について	基 本	41-A-041
【268】	2		「JRC蘇生ガイドライン2015」に準拠した胸骨圧迫	基 本	43-A-030
【269】	4	p. 343	救急救命士が行う心肺蘇生法	頻 出	43-A-029
【270】	5		小児用AEDについて	頻 出	41-A-043
【271】	4		心肺蘇生法で幅の狭いQRS波出現時の対応	必 修	40-B-012
【272】	4	p. 344	静脈路確保で橈骨神経損傷を起こす危険性のある穿刺部位	必 修	42-B-010
【273】	2		輸液時の三方活栓のコックの扱い方	必 修	39-B-014
【274】	3		成人への輸液に用いる輸液セットの滴数は？	必 修	42-B-011
【275】	5	p. 345	心肺停止前の輸液の適応外は？	必 修	39-B-016
【276】	2		救急救命士による輸液の適応から除外されるのは？	重 要	40-A-030
【277】	4		心臓または呼吸機能停止が対象になる救急救命処置は？	必 修	41-B-007
【278】	1	p. 346	ショック輸液の適応でない病態	基 本	43-A-054
【279】	5		救急救命士による自己注射について	必 修	40-B-015
【280】	5	p. 347	自己注射が可能なアドレナリン製剤の副作用	必 修	41-B-015
【281】	1		自己注射可能なアドレナリン製剤の投与方法	必 修	41-B-018
【282】	3, 5	p. 348	薬剤投与プロトコールについて		39-A-029
【283】	3		心肺停止の対応プロトコールで誤りは？	基 本	41-A-036
【284】	3		救急救命士による1回あたりのアドレナリン投与量	基本・重要	42-A-037
【285】	4	p. 349	心停止傷病者に対するアドレナリン投与方法	必 修	42-B-017
【286】	5		アドレナリン投与の適応	基 本	43-A-036
【287】	1	p. 350	「血糖測定及び低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与」標準プロトコール	必 修	43-B-017
【288】	5		ブドウ糖溶液の投与について	必 修	40-B-011
【289】	3		50%ブドウ糖溶液20mLの投与に費やす時間	基 本	42-A-043
【290】	5	p. 351	妊娠末期のショック傷病者の搬送体位	必 修	40-B-009
【291】	5		腹壁の緊張が最も少ない体位		41-A-056
【292】	5	p. 352	足側高位(ショック体位)を行うべき病態	必 修	43-B-010
【293】	2		悪寒戦慄を伴う発熱傷病者への体温管理	基 本	42-A-060
【294】	2	p. 353	車内分娩における臍帯切断方法	やや難問	42-A-075
【295】	4		開胸式心マッサージの適応	基 本	42-A-029
【296】	2		成人の一次救命処置		39-A-028
【297】	5	p. 354	心肺停止に対する救急業務プロトコール		39-A-036
【298】	1		救急隊員による成人への一次救命処置	必修・重要	42-B-013
【299】	5		CPR手技とその根拠の組合せで適切でないのは？	重 要	40-A-038
【300】	4	p. 355	救急救命士が行う小児の心肺蘇生法	基 本	43-A-034

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【301】	4	p. 355	小児の心肺停止対応業務プロトコール		39-A-037
【302】	5		乳児の心肺蘇生について		39-A-038
【303】	2	p. 356	小児の溺水で自発呼吸が微弱な場合にまず行うのは？	必 修	39-B-012
【304】	3		小児の一次救命処置		40-A-042
【305】	3		乳児と成人に共通する一次救命処置		40-A-043
【306】	1	p. 357	乳児の救急蘇生法について	必 修	41-B-016
【307】	4		乳児に対する心肺蘇生法	基 本	42-A-036
【308】	2, 3	p. 358	在宅療法とその適応疾患の正しい組合せ	難 問	40-A-039
【309】	4, 5		永久気管瘻造設傷病者のチアノーゼ対応処置	基 本	41-A-030
【310】	4		気管切開カニューレと各部の役割の正しい組合せは？		41-A-032
【311】	4	p. 359	COPDで在宅酸素療法による適切なSpO ₂ 値は？		41-A-040
【312】	5		慢性腎不全患者の呼吸困難の原因で最も可能性の高いものは？	必 修	43-B-014
【313】	2, 5	p. 360	ボディメカニクスの基本	頻出・重要	42-A-031
【314】	3		ボディメカニクスからみた傷病者搬送法での誤りは？	基 本	40-A-035
【315】	2		救急隊員2名による徒手搬送	必 修	40-B-016
【316】	2, 3	p. 361	意識障害傷病者の適切な徒手搬送法		41-A-035
【317】	3, 5		隘路の搬送について正しいのは？	難 問	39-A-027
【318】	5	p. 362	ドクターヘリコプターによる傷病者搬送の注意点		43-A-040
【319】	3	p. 363	CO ₂ ナルコーシスとは？		39-A-053
【320】	4		閉塞性換気障害をきたす疾患		40-A-046
【321】	2	p. 364	低酸素血症の原因	難 問	41-A-046
【322】	5	p. 365	呼吸運動を障害する原因部位		43-A-047
【323】	2	p. 366	肺内シャント増加が原因で低酸素血症をきたす疾患		42-A-054
【324】	1	p. 367	換気機能障害の3型について		43-A-048
【325】	3		左心不全の原因		41-A-047
【326】	1		左心不全における前負荷の影響とは	基 本	43-A-051
【327】	3	p. 368	体循環系のうっ血でみられる症候	必 修	43-B-020
【328】	1, 3		右心不全の症候		39-A-093
【329】	5		左心不全の徴候	必 修	41-B-019
【330】	5	p. 369	右心不全を伴わない左心不全の症候		42-A-052
【331】	5		肺うっ血とスターリングの原理	頻 出	42-A-053
【332】	5	p. 370	緊急度の高い心不全症候	必 修	40-B-019
【333】	2		高拍出性心不全の原因	難 問	40-A-053
【334】	1		高拍出性心不全の原因		41-A-049
【335】	3	p. 371	右心不全を伴うショック		41-A-051
【336】	4		ショック指数による重症度	やや難問	39-A-051
【337】	2		心タンポナーデとアナフィラキシーショック	やや難問	39-A-048
【338】	2, 4	p. 372	ショックの症候から原因を予想する	基 本	43-A-052
【339】	1		末梢血管拡張によるショック	必 修	39-B-028
【340】	5	p. 373	出血以外のショックの原因		39-A-102
【341】	3		循環血液量の計算と推定出血量の計算方法		43-A-110
【342】	1		大量出血時に分泌が増加しないホルモン		39-A-105
【343】	3	p. 374	大量出血に対する分泌系の反応は？		42-A-047
【344】	4		投与された乳酸リンゲル液の体内分布	必 修	43-B-019
【345】	1		出血性ショック時のホルモン		40-A-098
【346】	1		心タンポナーデの徴候	必 修	39-B-029
【347】	2	p. 375	心タンポナーデの病態	必 修	40-B-028
【348】	4		心外閉塞・拘束性ショックの原因	必 修	40-B-020
【349】	5		血液分布異常性ショックの特徴		40-A-054
【350】	1	p. 376	血液分布異常性ショックは他のタイプのショックとどう違うのか	必修・頻出	42-B-021

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【351】	1	p. 376	徐脈を伴うショックをきたす疾患の考え方	頻出	42-A-046
【352】	2	p. 377	敗血症性ショック		41-A-048
【353】	1		意識と意識障害	やや難問	43-A-049
【354】	5		クッシング徴候とは？	基本	41-A-088
【355】	2	p. 378	頭蓋内圧を上昇させる因子	必修・頻出	40-B-021
【356】	5		血流量増加による頭蓋内圧亢進症		40-A-049
【357】	4		脳血流を増加させる原因病態とは？	頻出	42-A-050
【358】	2		慢性頭蓋内圧亢進の三徴		42-A-051
【359】	5	p. 379	鉤回ヘルニアの徴候	必修	39-B-019
【360】	4		心原性心肺停止の社会復帰率が高いのは？		39-A-050
【361】	3		心肺停止後の社会復帰率が高いのは？	頻出	41-A-054
【362】	3	p. 380	心肺停止時の体内の酸素化状態は予後を決定する	基本	43-A-053
【363】	4, 5		心停止後の病態		39-A-046
【364】	2	p. 381	心室細動の原因	基本・頻出	41-A-052
【365】	2		臓器の虚血許容時間		41-A-053
【366】	3	p. 382	呼吸停止による心停止	必修	41-B-021
【367】	2		心拍再開時の徴候		40-A-047
【368】	5		低心拍出量による心肺停止の原因疾患	必修	42-B-019
【369】	5		p. 383	心停止と末梢組織の低酸素症	
【370】	5	心肺蘇生中の冠灌流圧			43-A-046
【371】	4	胸骨圧迫中の臓器血流			40-A-052
【372】	5	p. 384	胸骨圧迫の効果の増強因子となるもの	基本	42-A-048
【373】	4	p. 385	一次性脳病変とは何か	必修	43-B-021
【374】	4	p. 386	二次性脳病変による意識障害の発症機序に注目	必修	42-B-020
【375】	4		一次性脳病変の原因	必修	39-B-020
【376】	1, 4		遷延性昏睡の原因		39-A-015
【377】	4	p. 387	二次性脳障害による意識障害		42-A-070
【378】	2		意識障害の随伴症状とその原因の正しい組合せは？		40-A-071
【379】	2	p. 388	意識障害の随伴症候とその原因の正しい組合せは？		41-A-068
【380】	3		意識障害をきたす疾患の特徴的な神経所見		42-A-071
【381】	5	p. 389	徐脈を伴う意識障害の原因		41-A-055
【382】	5		脱水を合併した意識障害をきたすのは？	必修	39-B-022
【383】	3	p. 390	体温異常を伴う意識障害の原因		43-A-068
【384】	5		意思の疎通が可能な病態		40-A-065
【385】	3, 4	p. 391	閉じ込め症候群の意思疎通の方法		43-A-055
【386】	5		脳疾患による失語と精神障害の症候との違い	難問	43-A-087
【387】	3, 5		意識障害者で緊急度の高い観察所見		39-A-061
【388】	4	p. 392	痛覚がない頭蓋内組織は？		40-A-056
【389】	2		群発頭痛の特徴	頻出	41-A-067
【390】	4		頭痛の原因にならないのは？		41-A-072
【391】	5	p. 393	頭痛の発症様式は緊急度判断に重要	頻出	43-A-067
【392】	4		片頭痛に伴う症候(随伴症候)	頻出	42-A-069
【393】	4		緑内障発作を疑わせる頭痛		39-A-058
【394】	4	p. 394	全身性痙攣によって生じる病態	基本	41-A-060
【395】	2		観察所見による痙攣の名称		40-A-064
【396】	3		全身性痙攣中の傷病者の病態と徴候		43-A-059
【397】	1, 4	p. 395	全身性痙攣傷病者への対応		41-A-064
【398】	4		意識障害傷病者に優先する観察事項		39-A-059
【399】	5		全身性痙攣を起こした傷病者への対応	基本	42-A-059
【400】	3	p. 396	交叉性麻痺をきたす病変部位は橋にある	必修・難問	43-B-023

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【401】	4	p. 396	麻痺の種類とその症状の組合せで誤りは？		39-A-063
【402】	3		四肢麻痺をきたす頭蓋内出血は脳幹		42-A-056
【403】	5	p. 397	麻痺と障害部位の正しい組合せは？	基本	41-A-059
【404】	2		運動麻痺の種類と原因疾患・障害部位を確実に理解する	必修	42-B-023
【405】	3		トッド麻痺とは？		41-A-058
【406】	5	p. 398	失神性めまいの原因疾患	頻出	42-A-067
【407】	3		中枢性めまいとすべき症候		40-A-066
【408】	1		めまいの原因となる小脳出血	頻出	43-A-064
【409】	2	p. 399	蝸牛症状に含まれるもの	基本	42-A-097
【410】	1, 4		めまいの傷病者で緊急度が高い随伴症候		39-A-055
【411】	4		呼吸困難の判別方法	やや難問	43-A-057
【412】	3		高二酸化炭素血症を伴う呼吸不全の原因	必修	39-B-021
【413】	3	p. 400	静脈還流障害を伴う低換気をきたす疾患		39-A-049
【414】	2		上気道狭窄と吸気性呼吸困難は必須の知識	頻出	42-B-022
【415】	4		吸気性喘鳴を伴う呼吸不全をきたすのは？	必修	41-B-020
【416】	5	p. 401	吸気性呼吸困難一吸うは易く吐き出し難い	頻出	42-A-066
【417】	2		呼吸困難の随伴症候で緊急度が高いのは？	基本	40-A-070
【418】	4		咯血をきたす病態		40-A-069
【419】	3	p. 402	大量咯血をきたす頻度が高い疾患は？		42-A-061
【420】	5		咯血傷病者で最優先の確認事項	必修	41-B-023
【421】	3		咯血の2大原因と搬送時の留意点		43-A-065
【422】	2	p. 403	失神の原因とその誘因を分類する	必修	43-B-022
【423】	2		動悸に伴う失神は心肺停止の原因となる	基本	43-A-062
【424】	3	p. 404	失神の原因としての薬剤	頻出	43-A-066
【425】	1, 2		失神発作の誘因と原因の正しい組合せは？		39-A-071
【426】	5	p. 405	徐脈が原因の失神	重要	41-A-070
【427】	4	p. 406	発症状況から心血管性失神(心原性失神)を予測する		42-A-058
【428】	2		失神の随伴症候で緊急度が高いのは？		40-A-067
【429】	5	p. 407	胸痛における痛みの伝導路と疾患の関係	頻出	43-A-063
【430】	4, 5		胸痛後に失神をきたす疾患		39-A-060
【431】	5	p. 408	狭心痛の表現は傷病者によってさまざまである	難問	43-A-072
【432】	4		発症の仕方や随伴症候から胸痛の原因疾患を考える	頻出	42-A-062
【433】	5	p. 409	心疾患を疑わせる胸痛		39-A-065
【434】	4		胸痛が咳で増悪し前傾姿勢で軽減する疾患	頻出	41-A-065
【435】	5	p. 410	内臓痛に分類される胸痛		40-A-063
【436】	5		病院で緊急処置が必要な胸痛		40-A-061
【437】	3	p. 411	重症度が高い胸痛の訴え	基本	41-A-069
【438】	4, 5		動悸の訴えと不整脈の正しい組合せは？		39-A-066
【439】	3, 5	p. 412	心拍数150/分となる不整脈は？	頻出	39-A-067
【440】	5		始まりと終わりがはっきりした短時間の動悸(不整脈)	頻出	42-A-064
【441】	5		振戦を伴う動悸を訴える疾患		41-A-057
【442】	5	p. 413	動悸の随伴症候で緊急度が高いのは？		40-A-068
【443】	3		体性痛としての腹痛をきたす疾患		40-A-060
【444】	1	p. 414	内臓痛をきたす腹部疾患		39-A-062
【445】	3		マーフィー徴候を証明できる疾患		40-A-059
【446】	2, 5		女性の腹部に突然の激痛をきたす疾患		41-A-078
【447】	2, 5	p. 415	アルコール依存症の傷病者に生じる腹痛		42-A-057
【448】	3		腹痛傷病者の既往歴と疾患の正しい組合せは？		39-A-070
【449】	4	p. 416	左下腹部痛と血性下痢をきたすのは？	難問	40-A-091
【450】	3		反跳痛を証明できる疾患	頻出	41-A-066

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【451】	1	p. 416	下血の原因となる消化管の部位		40-A-058
【452】	3	p. 417	黄疸を伴う吐血の原因	必修	41-B-024
【453】	5		タール便を特徴とする消化系疾患	基本	41-A-062
【454】	2		下痢や下血時の便の性状と特定の疾患との関連性	頻出	42-A-072
【455】	2	p. 418	最も大量の消化管出血をきたすのは？		39-A-069
【456】	5		吐血の発症状況と性状による原因の予測		43-A-056
【457】	5		下肢への放散痛を伴う腰背部痛の原因は？		42-A-055
【458】	3	p. 419	腰痛疾患とその原因の正しい組合せは？		39-A-056
【459】	2, 5		腰背部痛で緊急度が高い所見		40-A-057
【460】	5		腰痛で緊急度が高い症候	必修	39-B-023
【461】	1	p. 420	悪寒戦慄は発熱のどの時期に出現するか？		40-A-062
【462】	4		シバリングは感染症の重症化を意味する		43-A-070
【463】	2		発熱に伴う病態		39-A-072
【464】	2	p. 422	感覚性失語に特徴的な徴候	難問	41-A-095
【465】	1		くも膜下出血の発症直後にみられない症候		39-A-086
【466】	5	p. 423	一過性脳虚血発作について正しいのは？		40-A-084
【467】	3		一過性脳虚血発作は意識障害はないが、脳梗塞の前触れ		43-A-093
【468】	3		出血の対側の片麻痺と病巣に向かう共同偏視は被殻出血の重要な症候		42-A-077
【469】	5	p. 424	ウイルス性髄膜炎の特徴	頻出	41-A-084
【470】	2		髄膜炎の症候に伴わないのはどれか？	頻出	42-A-068
【471】	5		ギラン・バレー症候群の発症機序		39-A-089
【472】	1	p. 425	てんかんで異常放電が生じている大脳の部位		40-A-072
【473】	3		パーキンソン病に特徴的な振戦		40-A-077
【474】	2		急性喉頭蓋炎について正しいのは？		40-A-074
【475】	1	p. 426	喉頭蓋炎による腫脹と疼痛はどのような症候をきたすのか	頻出	42-A-083
【476】	5		気管支拡張症の特徴的な症候		40-A-086
【477】	3		気管支喘息発作で心停止になる病態		39-A-052
【478】	4	p. 427	肺炎の発症状況から呼称はさまざまである		43-A-075
【479】	1, 4		胸膜炎による胸痛の特徴	頻出	39-A-076
【480】	1, 3		胸膜炎の特徴的な症候	頻出	41-A-092
【481】	2, 4	p. 428	自然気胸の観察所見	基本	42-A-081
【482】	5		呼吸性アルカローシスによる低カルシウム血症		42-A-084
【483】	4		急性心筋梗塞発症後の超早期死亡の原因は不整脈	必修	42-B-024
【484】	4	p. 429	QT延長症候群は薬剤でも発症する		43-A-078
【485】	4		P波の意味		41-A-074
【486】	3		失神を起こしやすい不整脈とその心電図波形は？		39-A-091
【487】	4	p. 430	洞停止の心電図波形はどれか？		40-A-097
【488】	4		VFに移行する危険な不整脈は3種類		42-A-049
【489】	5		心電図所見と胸痛の特徴から原因疾患を予測する		42-A-065
【490】	3	p. 431	急性心筋梗塞の心電図は経時的に変化する	難問	42-A-076
【491】	1		心電図の基本波形の成分	必修	42-B-015
【492】	2		不規則な脈拍が持続する不整脈の名称は？	必修	40-B-008
【493】	4	p. 432	心停止に関連する心電図所見について		39-A-054
【494】	4		心室頻拍出現時の対応		40-A-027
【495】	3		P波とQRS波との関連性やPQ間隔・R-R間隔に着目する		43-A-089
【496】	5	p. 433	心電図波形の意味	基本	41-A-003
【497】	3		心電図から心拍数を計算する	基本	41-A-039
【498】	3		心電図の基本波形の電気生理学的意味を理解する		43-A-083
【499】	5	p. 434	傷病者が示す洞頻脈による脈拍異常の表現		43-A-061
【500】	5		心電図波形の観察によって行うべき処置	基本	41-A-071

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【501】	2, 3	p. 436	下肢深部静脈血栓症は発症の危険因子が	重 要	42-A-092
【502】	4, 5	p. 437	閉塞性動脈硬化症について		41-A-079
【503】	4		急性四肢動脈閉塞症について		40-A-082
【504】	1, 4	p. 438	急性阻血による徴候はコンパートメント症候群よりも急速である	頻 出	42-A-096
【505】	2		肺血栓塞栓症は国試に頻出する疾患	頻 出	43-A-095
【506】	3		高血圧緊急症の原因疾患と症候の組合せで誤りは？		40-A-078
【507】	5	p. 439	食道静脈瘤の傷病者にみられる腹部所見	必 修	42-B-016
【508】	1		アニサキス症について		41-A-081
【509】	3, 4		単純性イレウスの症候		39-A-074
【510】	1	p. 440	絞扼性イレウスの判別方法		43-A-077
【511】	2		下部消化管穿孔の原因は大腸穿孔を考える		43-A-060
【512】	3		←解説参照(採点除外) 肝硬変ではみられない症候		39-A-077
【513】	1	p. 441	急性ウイルス性肝炎の3型は症候や臨床経過が異なるので区別する		42-A-080
【514】	4		急性膵炎の原因	必 修	39-B-025
【515】	5		胆石症の疝痛発作について	頻 出	41-A-082
【516】	2	p. 442	胆石症は国試に頻出する疾患。すべてを覚える	頻 出	43-A-092
【517】	2		肉眼的血尿をきたす疾患	必 修	40-B-024
【518】	1, 3		頻尿をきたす疾患		39-A-085
【519】	1	p. 443	腎後性腎障害の原因	必 修	39-B-024
【520】	2		補助腎臓療法は2種類ある		43-A-085
【521】	2, 4		尿管結石の特徴		40-A-087
【522】	3	p. 444	尿管結石は疝痛と観察所見で推定できる		43-A-071
【523】	2		緊急手術となる女性生殖器疾患		39-A-081
【524】	2		骨盤内感染症について		40-A-093
【525】	4	p. 445	子宮筋腫の随伴症状		40-A-080
【526】	5		あまり知られていない疾患。国試に初出		42-A-088
【527】	5		多尿・口渇・大きく深い呼吸の原因は？	必 修	40-B-026
【528】	2, 3	p. 446	糖尿病の合併症		41-A-015
【529】	3		インスリンの標的臓器とは？		41-A-077
【530】	4, 5	p. 447	低血糖が疑われるときにする質問は？		40-A-083
【531】	5		糖尿病治療中の傷病者に起こる低血糖に注意		42-A-085
【532】	4		ペットボトル症候群の病態		40-A-075
【533】	1	p. 448	高浸透圧高血糖症候群の特徴		43-A-076
【534】	3		疾患と酸塩基平衡異常の正しい組合せは？		41-A-012
【535】	3	p. 449	低張性脱水による症候は高張性脱水と対比させて理解する	重 要	42-A-074
【536】	2, 4		低カリウム血症による症候		39-A-094
【537】	4		痛風と腎障害について		43-A-080
【538】	4	p. 450	アルカローシスとなる病態	基 本	43-A-013
【539】	3		甲状腺クリーゼにみられない症候		39-A-087
【540】	1, 3	p. 451	るいそうの原因		41-A-086
【541】	3, 5		ビタミン名とその欠乏症との関連は簡単なので間違えないように		42-A-086
【542】	5	p. 452	貧血の症状は酸素供給量の減少と代償反応の2つの機序で生じる	必 修	43-B-024
【543】	1		貧血の症状	難 問	41-A-093
【544】	4, 5	p. 453	血液酸素含有量はヘモグロビン濃度と酸素飽和度で決定される		43-A-081
【545】	4		膠原病について		39-A-088
【546】	3		アナフィラキシーによる皮膚症状	必 修	39-B-010
【547】	4, 5	p. 454	アナフィラキシーの発症誘因と病態、症候は重要	重 要	43-A-091
【548】	2		アナフィラキシーについて	必修・頻出	41-B-026
【549】	3		I型アレルギーとは？		39-A-004
【550】	5, 3, 4	p. 455	←解説参照 頸椎後縦靭帯骨化症について		39-A-092

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【551】	2, 3	p. 455	腰部脊柱管狭窄症も閉塞性動脈硬化症も間欠性跛行がある		42-A-091
【552】	2, 5		椎間板ヘルニアの好発部位		40-A-088
【553】	1, 2	p. 456	頸椎椎間板ヘルニアについて		41-A-094
【554】	5		化膿性と書かれた病名はすべて細菌感染によるもの		43-A-094
【555】	2		重症筋無力症について		39-A-082
【556】	1, 3	p. 457	皮膚軟部組織の感染症はどれか？		39-A-095
【557】	3, 5		急激な視覚障害の原因		39-A-032
【558】	4	p. 458	突然発症の視覚障害は眼痛を伴うか否かが判別に重要	重 要	43-A-096
【559】	2, 4		鼻出血への初期対応		40-A-085
【560】	4	p. 459	結核の新規登録者について	頻 出	39-A-083
【561】	2, 5		わが国の結核事情	基 本	42-A-094
【562】	4	p. 460	季節性インフルエンザについて		40-A-095
【563】	5		世界的感染拡大(パンデミック)をきたす要因はヒトである		43-A-088
【564】	2		海産魚介類による食中毒の原因菌		39-A-097
【565】	5	p. 461	病原菌を毒素型と感染型に分類することで潜伏期の長短の判断になる		42-A-079
【566】	3	p. 462	食中毒の原因		41-A-076
【567】	1		疥癬について誤りは？		40-A-081
【568】	2	p. 463	ガス壊疽でみられない症候	頻 出	41-A-097
【569】	1		小児の発達段階における特徴	基 本	42-A-087
【570】	2, 5		小児のバイタルサインの特徴	基 本	42-A-095
【571】	3	p. 464	乳児の呼吸数の正常範囲	必 修	42-B-026
【572】	5		好発年齢が3～6か月の疾患		39-A-078
【573】	3		小児の生理機能について		40-A-076
【574】	5	p. 465	小児の成長に伴う形態変化について		40-A-089
【575】	5		2歳児の所見で緊急度が高いのは？		39-A-080
【576】	1		乳児突然死症候群の危険因子ではないのは？		41-A-096
【577】	2	p. 466	腸重積の発症年齢・症候の特徴・予後について	必修・頻出	43-B-026
【578】	1		小児呼吸器疾患と症状の組合せで誤りは？		39-A-096
【579】	4		SIDSの疫学的知識を理解する		43-A-086
【580】	2, 4	p. 467	気管支喘息の重症度	必修・頻出	41-B-025
【581】	3		小児の急性喉頭蓋炎の特徴的症候	必 修	39-B-026
【582】	1, 3	p. 468	児童虐待について		41-A-075
【583】	3, 4	p. 469	被虐待児ではないか、と疑うための観察所見の知識は欠かせない		42-A-073
【584】	3		被虐待児症候群の疫学的知識は重要	重 要	43-A-084
【585】	4		単純型熱性痙攣と複雑型熱性痙攣の違い		43-A-090
【586】	3	p. 470	腸重積について		40-A-090
【587】	5		腸重積について	頻 出	41-A-091
【588】	4		高齢者に特徴的な呼吸機能の変化		39-A-079
【589】	5	p. 471	加齢による変化について	頻 出	41-A-080
【590】	4		高齢者への話しかけ方で適切でないのは？		40-A-092
【591】	3	p. 472	高齢者特有の疾患には誘因がある		43-A-082
【592】	1		高齢者の急な環境変化(入院時など)に最も留意する病態		42-A-090
【593】	3	p. 473	認知症には中核症状と行動と心理症状とがある		43-A-097
【594】	3		認知症の中核症状は4つある	必 修	43-B-025
【595】	1	p. 474	認知症の周辺症状にあたるのは？		41-A-083
【596】	4		妊娠中に循環血漿量が最も多くなるのはいつか？		40-A-094
【597】	2	p. 475	分娩予定日の概算方法		43-A-074
【598】	1, 5		正常な妊娠について正しい説明は？		39-A-073
【599】	2		異所性妊娠で最多の着床部位		40-A-079
【600】	2	p. 476	妊娠高血圧症候群の定義と合併しやすい疾患について		42-A-082

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【601】	3	p. 476	正常な分娩について正しい説明は？		39-A-084
【602】	5		緊急帝王切開の適応		41-A-090
【603】	2	p. 477	分娩中に起こる呼吸困難と意識障害は重篤なサイン		43-A-073
【604】	3		車中分娩に備えるべき時期	頻 出	41-A-085
【605】	5	p. 478	自殺企図者への対応で適切でないのは？		40-A-073
【606】	3		興奮した傷病者への正しい対応		41-A-087
【607】	2		興奮した傷病者を鎮めるための対応		43-A-079
【608】	4	p. 479	昏迷状態にある解離性障害で注意すべきは？		39-A-075
【609】	5		解離性障害の傷病者にみられる特徴		43-A-058
【610】	2		パニック発作は身体症状を伴う強い不安感が突然起こる		42-A-093
【611】	5	p. 480	外傷の疫学と外傷システム	基 本	42-A-114
【612】	1, 2	p. 481	PTD回避のための方策は？		39-A-103
【613】	5		初期評価でのロードアンドゴーの決定所見		39-A-108
【614】	5		ロードアンドゴーの判断所見		40-A-106
【615】	5		トラウマ(外傷)バイパスの概念	基 本	42-B-028
【616】	3	p. 482	介達損傷による大腿骨のらせん骨折		42-A-112
【617】	4		減速機序による損傷	頻 出	41-A-099
【618】	1		体腔内で固定が緩い臓器が減速機序で損傷される		42-A-105
【619】	2	p. 483	創傷と成傷器の組合せ	基 本	42-A-107
【620】	3		多発外傷の定義を明確にしておく		43-A-101
【621】	5		運転手の受傷機転と損傷形態の正しい組合せは？		40-A-109
【622】	4	p. 484	特殊な受傷機転と損傷臓器の関連	頻 出	43-A-112
【623】	4		高所墜落時の脊椎損傷の好発部位		39-A-111
【624】	2, 4		爆傷の第1段階で起こる損傷		40-A-110
【625】	3, 5	p. 485	損傷に対する全身的(炎症)反応とは？		40-A-101
【626】	5		生体侵襲時の代償反応にかかわるストレスホルモンと昇圧系	重 要	43-A-113
【627】	1, 4	p. 486	不可逆性ショックと外傷死の三徴		42-A-113
【628】	4		外傷による出血性ショックの病態		39-A-104
【629】	3	p. 487	外傷に伴うショックについて	必 修	41-B-029
【630】	4		心外閉塞・拘束性ショックの原因は3つある	必 修	43-B-029
【631】	2	p. 488	症候から推定する出血量の算定		41-A-100
【632】	2	p. 489	大量出血時の生体反応	頻 出	41-A-107
【633】	4	p. 490	大腿骨骨幹部骨折による出血量の推定	必 修	41-B-027
【634】	3	p. 491	外傷の現場で初期評価と同時にを行う処置	基本・重要	42-A-100
【635】	2, 3		外傷の現場活動について		40-A-107
【636】	4		外傷の観察所見と病態の推定で正しい組合せは？	必 修	40-B-027
【637】	4	p. 492	観察所見に対応した適切な処置の組合せは？	基 本	41-A-103
【638】	3		外傷傷病者に対する適切な現場活動	必 修	41-B-028
【639】	5	p. 493	一次性脳損傷は治療により回復させることができない		42-A-106
【640】	2		急性硬膜外血腫の特徴は意識清明期があることである		43-A-100
【641】	5		びまん性脳損傷の要約		43-A-109
【642】	4	p. 494	頭頸部外傷での緊急度判断所見	必 修	40-B-010
【643】	2		顔面外傷に合併する脳神経障害は？		39-A-113
【644】	1		眼窩吹き抜け損傷による眼症状は重要で、国試に頻出する	頻 出	43-A-106
【645】	2		眼窩吹き抜け骨折の特徴的所見		41-A-104
【646】	3	p. 495	眼球の穿通性損傷に対する処置		40-A-120
【647】	3		脊椎損傷の受傷機転と病変の正しい組合せは？		40-A-104
【648】	5		頸椎・頸髄損傷は国試に頻出する	頻 出	42-A-098
【649】	3	p. 496	高齢者の頸髄損傷の特徴について		39-A-098
【650】	2		頸髄損傷時の緊急度判断		39-A-100

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【651】	1, 5	p. 496	脊髄損傷の特徴的所見		40-A-111
【652】	5	p. 497	頸髄損傷の特徴的徴候	必修	40-B-023
【653】	5		損傷された頸髄節のレベルと上肢運動機能障害の関係	やや難問	43-A-069
【654】	2, 5	p. 498	心タンポナーデの症候は国試に頻出！	頻出	42-A-111
【655】	4		心タンポナーデの症候は国試に頻出する	頻出	43-A-104
【656】	5		腹部鈍的外傷後の換気不全の原因		40-A-112
【657】	4	p. 499	頭部・顔面骨折を疑わせる所見でないのは？		39-A-040
【658】	5		外傷性窒息の原因と症候発症機序を理解する	必修	42-B-029
【659】	2, 5		緊張性気胸の観察所見	基本	41-A-073
【660】	4	p. 500	墜落外傷で生じる大動脈損傷の好発部位		40-A-102
【661】	3, 5		胸部外傷での観察所見と病態の正しい組合せは？		41-A-106
【662】	1	p. 501	心臓外傷危険区域とは？		39-A-112
【663】	4		視診では異常を観察できない胸部外傷	基本	41-A-113
【664】	1	p. 502	外傷後に出現する血液分布異常性ショックは大腸損傷(による敗血症性ショック)を疑う		43-A-108
【665】	3		腹膜炎をきたす腹部損傷臓器	必修	40-B-029
【666】	4	p. 503	腹部臓器損傷による病態		43-A-114
【667】	1, 4		骨盤骨折についての知識		40-A-108
【668】	4, 5		不安定型骨盤骨折になりやすい骨折形態は？		39-A-109
【669】	5	p. 504	不安定型骨盤骨折は大出血を起こすので出題頻度が高い	頻出	43-A-103
【670】	2, 4		骨盤骨折を疑わせる観察所見	基本	41-A-108
【671】	5		骨盤専用固定具により止血が期待できる骨盤外傷	基本	42-A-104
【672】	4	p. 505	骨盤骨折の現場処置と搬送の留意点は国試に頻出する	頻出	43-A-105
【673】	5		疲労骨折が生じやすい部位		40-A-113
【674】	2		クラッシュ症候群の早期の局所所見		39-A-110
【675】	4	p. 506	クラッシュ症候群の病態について	基本・頻出	41-A-112
【676】	2, 4		皮膚軟部組織の特殊な損傷形態	頻出	41-A-111
【677】	3, 5	p. 507	コンパートメント症候群の初期症状	基本	42-A-101
【678】	5		四肢外傷における骨折の特徴的所見	必修	39-B-027
【679】	5		四肢外傷の救急現場での処置は国試に頻出する		43-A-099
【680】	5	p. 508	出血を伴う四肢外傷の適切な処置	基本	41-A-109
【681】	1, 2		小児に特徴的な四肢外傷	基本	42-A-102
【682】	3, 5		肘内障についての知識		39-A-101
【683】	3	p. 509	頭部外傷で皮下血腫が骨縫合を越えないものは？		39-A-114
【684】	5		小児外傷の特徴		40-A-099
【685】	3, 5	p. 510	乳幼児揺さぶられ症候群の特徴的損傷とは？		41-A-102
【686】	3, 5		骨粗鬆症が原因で骨折しやすい部位		40-A-096
【687】	3		受傷した高齢者の特徴を理解しておく		42-A-109
【688】	1, 5	p. 511	高齢者の外傷は搬送頻度が高いのでその特徴をとらえておく	頻出	43-A-102
【689】	4		妊婦外傷の特徴と留意点		41-A-101
【690】	5	p. 512	腹部を打撲した妊婦で起こりうるのは？	必修	40-B-025
【691】	2, 3		←解説参照 閉所での熱傷の早期に出現する問題点とは？		39-A-107
【692】	1, 2		重症度熱傷の判断基準		40-A-105
【693】	5		アルツの基準で中等度熱傷とは？		41-A-110
【694】	4	p. 513	熱傷予後指数の算出方法		41-A-114
【695】	3		熱傷の評価方法	基本	42-A-103
【696】	3		皮膚徴候によって熱傷の到達深度を推定する	必修	43-B-028
【697】	3	p. 514	9の法則による熱傷面積の算出	必修	42-B-027
【698】	2		熱傷の重症度の判断に熱傷面積の算出は必須		43-A-098
【699】	2, 3		熱傷傷病者への対応		40-A-100
【700】	4	p. 515	熱傷傷病者への対応	基本	42-A-108

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【701】	5	p. 515	化学損傷による症候は化学物質によって特徴がある	頻 出	42-A-110
【702】	4		低カルシウム血症をきたす化学物質	頻 出	40-A-114
【703】	5	p. 516	強酸による化学損傷とフッ化水素酸の特殊性		43-A-111
【704】	1, 3		化学損傷予防のために準備する物品		39-A-099
【705】	4, 5		絞頸に頻度の高い特徴的観察所見		41-A-105
【706】	1	p. 517	動物咬傷の特徴を覚える		43-A-107
【707】	1, 4		マムシ咬傷による病態		39-A-106
【708】	3		マムシ咬傷の特徴		41-A-098
【709】	2	p. 518	マダニ咬傷による感染症	やや難問	42-A-099
【710】	5		骨格筋麻痺をきたす刺咬症		40-A-103
【711】	5	p. 519	日本中毒情報センターへ問い合わせ数の多い中毒物質は？		39-A-115
【712】	3		中毒死で最多の原因物質		40-A-119
【713】	2		医薬品による中毒死の原因薬剤		41-A-118
【714】	3	p. 520	中毒物質とその症候の正しい組合せは？	頻 出	40-A-118
【715】	2		毒物・薬物の投与経路による血中濃度の違い		43-A-119
【716】	1	p. 521	各種中毒に特有の症候	頻 出	42-A-116
【717】	3, 4		心電図の波形異常をきたす疾患		41-A-029
【718】	2	p. 522	一酸化炭素中毒傷病者への対応	必 修	42-B-030
【719】	4		無臭の中毒物質	必 修	40-B-030
【720】	2		急性エタノール中毒の症候はその血中濃度で決定される	必 修	43-B-030
【721】	1	p. 523	常識で考えれば正答するのは易しい		42-A-119
【722】	1	p. 524	異物による上気道閉塞の観察所見	基本・頻出	41-A-061
【723】	5		異物による上気道閉塞をきたした傷病者に対して最初に行うべき対応は？		43-A-116
【724】	3, 5		食道異物による症候		41-A-119
【725】	2	p. 525	潜水反射の意味と臓器保護としての役割		43-A-117
【726】	4		溺水の疫学について誤りは？		39-A-119
【727】	3		溺水の疫学について		40-A-117
【728】	1, 4	p. 526	溺水の病態		41-A-115
【729】	1, 3		溺水者の救助方法		39-A-120
【730】	2		暑さ指数における厳重警戒の基準	基 本	42-A-117
【731】	5	p. 527	熱中症による高体温		41-A-063
【732】	3, 4		高齢者に生じる熱中症の特徴		43-A-120
【733】	3		Ⅲ度熱中症の症候	必 修	39-B-030
【734】	2, 3	p. 528	Ⅲ度熱中症の症候		41-A-120
【735】	4		熱中症の重症度分類と症候	頻 出	42-A-120
【736】	1		熱中症について	必 修	41-B-030
【737】	1	p. 529	偶発性低体温症の誘因と病態		40-A-116
【738】	3		エックス線とは？		41-A-044
【739】	2		放射線被ばくによる確率的影響とは？		42-A-045
【740】	1, 2, 5	p. 530	←解説参照 急性放射線障害を受けやすい臓器		40-A-045
【741】	5		急性放射線障害の症候		40-A-115
【742】	1		致死的高線量被曝による急性期の症候とは		42-A-115
【743】	5	p. 531	致死的な被曝放射線量		43-A-115
【744】	3, 4		内部被曝を生じる原因		39-A-044
【745】	4		放射線事故現場での判断と処置		39-A-116
【746】	2, 3		GM式サーベイメータが測定する放射線とは？		41-A-117
【747】	5	p. 532	脳浮腫と肺水腫の出現は重症高山病で出現する		43-A-118
【748】	2, 5		減圧障害による重篤な症候		39-A-118
【749】	2	p. 533	酸素濃度の安全限界	基本・重要	42-A-118
【750】	4		凍傷傷病者への対応で誤りは？		41-A-116